

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安心して暮らせる地域づくりを持続させるための地域商社推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 未来社会推進機構 出澤 俊明 (電話0269-67-0520)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,039,832円 (うち支援金: 831,000円)

事業内容

急激に人口減が予想される農村集落は、区費の減少で今後財政難となり、継続的な自治活動に支障をきたすことになります。そこで、地域資源を活用した商品を制作して地域外の消費者に販売する所謂コミュニティビジネスによって「外貨」を稼ぎ、売上の一部を区会計に繰り入れ財政難を緩和する必要があります。

本事業では、弊社と連携協定を結んだ北原区をモデル地区として、新たに3つの商品を制作して、販売するウェブサイト(クレジット決済)を構築しました。そして、その名前を「忘れがたきふるさと便」としました。

新たに開発した商品は、寛永18年の新田開発から続く米「四百年歴史米」、里山に自生するクロモジの枝で作ったボールペン「くろもじペン」、クロモジの葉で作ったお香「くろもじ香」です。今後は、弊社が「地域商社」として、他の地域への普及を目指します。

事業効果

本事業では、弊社と連携協定を結んだ北原区をモデル地区として、新たに3つの商品を制作し、併せて販売ツールとしてのウェブサイトを構築しました。その間、生産から販売までの一貫したプロデュース方法を学びました。(商品づくりでは、資源の発掘、製法方法、ストーリーづくり、PR 動画制作、地域情報の作り方等)

また、その名を「忘れがたきふるさと便」とし、多くの方から着眼点についても評価をいただきました。

その結果、弊社が「地域商社」として、他の地域へ本事業の普及を目指しますための礎ができました。

今後の取り組み



【完成した商品を紹介する】

【目標・ねらい】

企業と同様に、地域(集落)もマネジメント(経営)が必要な時代となった。所謂「エリアマネジメント」である。その必要要素は、人、物、金、情報の4つである。

弊社が令和5年度から進める「未来のムラ創造プロジェクト」は、まさにエリアマネジメントであり、5年度の移住者募集の「人」に加えて、6年度の「物」「金」「情報」(地域情報)の必要な4要素が得る礎ができた。

今後弊社は、他の地域を巻き込み、本事業を普及し、安心して暮らせる、持続可能な地域づくりを進めていきます。

※自己評価【B】

事業完了が3月初旬になったことから、販売に伴うマーケティングの時間が十分に取れなかったため。

「忘れがたきふるさと便」を活用して、地域を巻き込み、農産物や工芸品などの地域の資源(商品)をブランド化し、生産・加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある